《2023年版　環境経営レポート》

自　2023年10月1日

至　2024年9月30日

発行年月日　2024年11月15日

不二電気工芸株式会社

目　次

１．組織の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ３

２．対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日 ・・・・・・・・・・・・・ｐ４

３．環境経営方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ５

４.環境管理組織体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ６

５．環境経営活動への取組の全体概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ７

６．環境経営目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ８

７．環境経営活動計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ９

８．環境経営目標の実績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ１０－１５

９．環境経営活動計画の取組結果とその評価 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ１６

１０．次年度の取組内容
（１）環境経営目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ１７
（２）環境経営活動計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ１８

１１．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 ・・・・・ｐ１９－２０

１２．代表者による全体評価と見直しの結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ２１

１３．その他の取組 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ２２－２６

発行日　　：　2024年　11月 15日
発行責任者　：　環境管理責任者　川﨑　久通

次回発行予定：　2025年　11月頃

1．組織の概要

【事業所名】不二電気工芸株式会社

【代表者氏名】代表取締役　川﨑敦子

【所在地】高知県高知市本町五丁目4番21号

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名：川﨑久通

連絡先担当者（エコアクション21事務局）：　久保秀司　大野真一

連絡先　TEL：088-822-9352　FAX：088-822-9360

【事業活動の内容について】

電気工事業、管工事業、機械器具設置工事業、電気通信工事業、消防施設工事業

昇降機・各種ビル設備等の販売

FA産業機器の販売

空調・低温機器・換気機器・その他冷熱機器の販売、保守、管理、修理

【建設業許可等】

高知県県知事許可（特－3）第7620号 電気工事業

高知県県知事許可（特－3）第7620号 管工事業

高知県県知事許可（般－3）第7620号 機械器具設置工事業

高知県県知事許可（般－3）第7620号 電気通信工事業

高知県県知事許可（般－3）第7620号 消防施設工事業

第一種フロン回収業者登録番号　高知A第0015号

【事業規模】

設立年月日：1949年4月15日

資本金：2,000万円

延べ床面積：2,264.23㎡　(駐車場棟を除く)

従業員数：2024年11月15日現在　52名

対象期間	単位	2023年10月～2024年9月	2022年10月～2023年9月	2021年10月～2022年9月
従業員数	人	51	52	52
売上高	万円	177,679	201,182	173,452
事業所敷地面積	㎡	2,252.90	2,252.90	2,252.90
事業所延べ床面積	㎡	2,264.23(駐車場棟を除く)	2,264.23(駐車場棟を除く)	2,264.23(駐車場棟を除く)

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲(認証・登録範囲)】
不二電気工芸株式会社　全社
本社　高知県高知市本町五丁目4番21号

【対象範囲(事業活動)】
電気工事業、管工事業、機械器具設置工事業、電気通信工事業、消防施設工事業、
FA産業機器・昇降機・各種ビル設備等の販売、空調・低温機器・換気機器・その他冷熱機器の販売
保守管理、修理

【レポートの対象期間】
2023年10月1日　～　2024年9月30日

【環境経営レポートの発行日】
2024年11月15日

【次回レポート発行予定】
2025年11月頃

【作成責任者】
環境管理責任者　川﨑　久通

3．環境経営方針

【環境経営理念】

“技術と信用”をモットーに電気を通じた地域社会への貢献に加え、地球環境に配慮した企業の社会的責任を遂行するとともに、社員一人ひとりが社会の一員として環境を認識し活動することで持続可能な社会づくりに貢献し、積極的に地球環境への負荷軽減に力を注いでまいります。

【基本方針】

１．電気機器の卸・販売や建設設備工事（電気設備工事等）に関わる環境側面を認識し
　エコアクション21に準拠した環境経営システムを構築、維持するとともに、顧客及び
　地域住民の信頼と信用を得るように努め、システムと環境パフォーマンスの継続的改善に
　取り組み、環境経営を推進していきます。
２．環境関連法規を遵守します。
３．全社員に環境に関する教育を行い、環境保全に関する知識の向上を図ります。
４．事業所・現場より発生する産業廃棄物を適正に処理します。
５．事業活動に伴う二酸化炭素排出量、産業廃棄物排出量、総排水量、省資源を自主管理し
　環境と調和したエネルギーの削減に努めます。
６．環境負荷の低減は、事業規模に見合った方法で技術的及び経済的に推進します。
７．環境経営方針を達成するため環境目標を設定し、全ての従業員が分担して取組むと共に定期的に
　見直して、環境負荷の低減に努めます。
８．グリーン購入を推進します。
９．環境に配慮した商品の販売・工事を推進します。
１０．この環境経営方針は、掲示及びその他の手段で全従業員に周知すると共に一般にも公開します。
１１．環境経営レポートを作成し、広く外部に公表していきます。

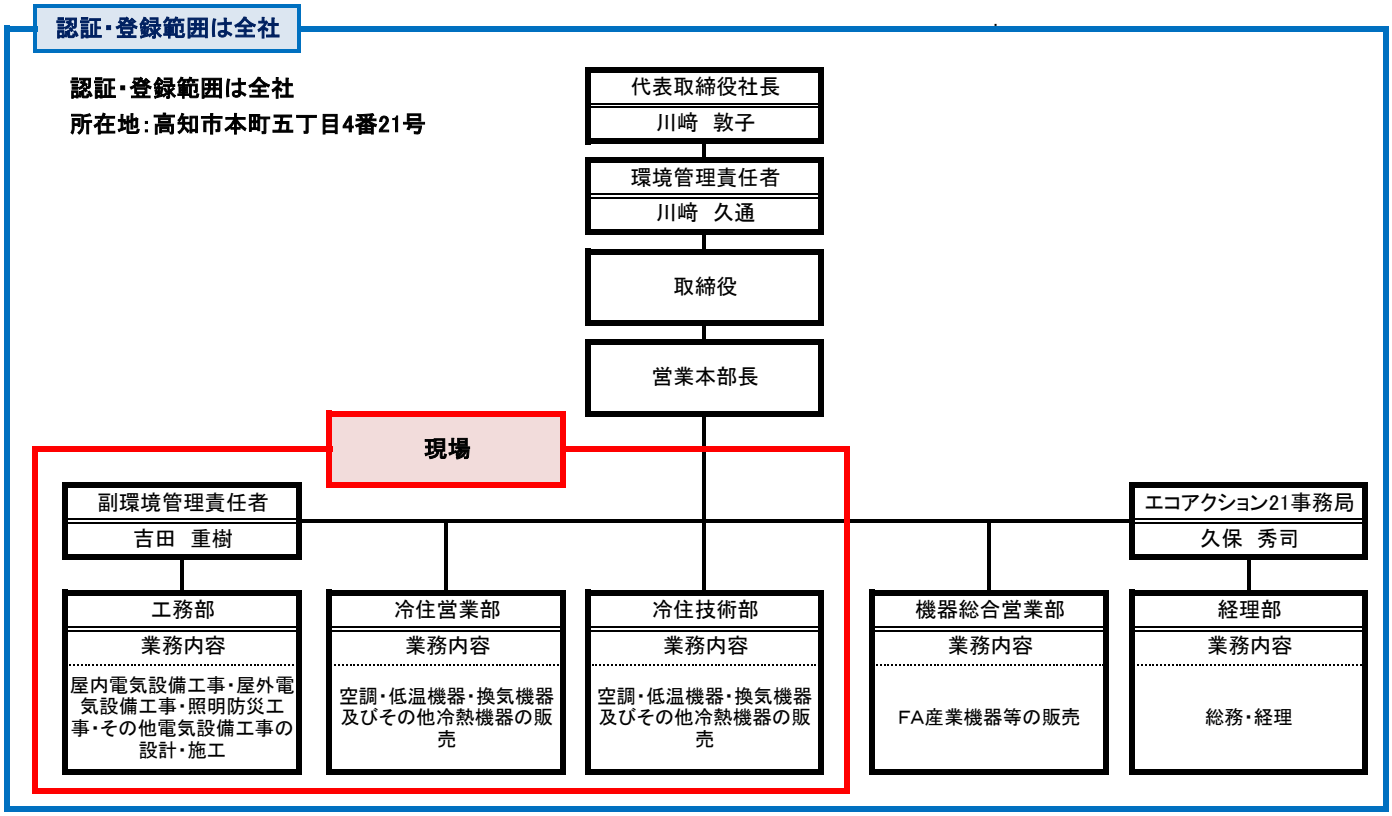
制定日　2010年4月1日

改定日　2020年1月15日

不二電気工芸株式会社

代表者　川﨑　敦子

４．環境管理組織体制



	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認
	・取締役による全体評価を見直し実施
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認
	・環境活動の取組結果を代表者に報告
	・環境経営レポートの確認
エコアクション21事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開
部門長	・自部門における環境方針の周知、従業員への環境教育訓練実施
	・自部門に関係する環境活動計画の実施、達成状況報告
	・自部門に関係する緊急事態訓練の実施
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実際
従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加

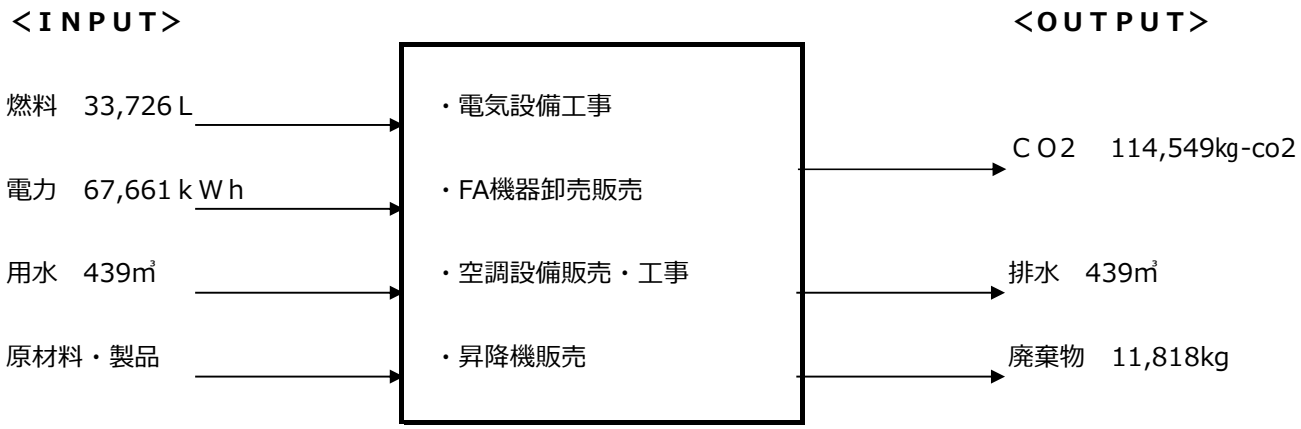
５．環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「２０１７年版エコアクション２１ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い
環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

＜全体概況＞

○燃料使用量は昨年から大きな変化はなかったが、一方で電力使用量は大きく減少した。
〇一般廃棄物・産業廃棄物に関しては分別を呼びかけ総量・原単位ともに削減となった。
〇用水の使用量の殆どが事務所での使用分で現場での使用が無く、現状では削減が難しい。
○太陽光発電設備については、2023年10月～2024年9月の1年間の発電量は、
13,854 kWhとなり、CO2 の排出削減量は、7,315kg－CO2となっています。

＜不二電気工芸株式会社の物質フロー＞（2022年度）



６．環境経営目標

（１）単年度目標　（2023年度）　〈化学物質の使用が無い為、目標値の設定はありません〉

項目	総量･原単位	単位	基準年 2018年度 2018.10-2019.9	2023年度 目標 2023.10-2024.9
売上高		百万円	1,786	1,800
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	（ℓ）	25,245	24,000
	原単位	（ℓ/百万円）	14.13	13.33
軽油使用量※5	総量	（ℓ）	－	1,310
	原単位	（ℓ/百万円）	－	0.73
電力使用量	総量	(kWh)	75,750	74,500
	原単位	（ｋＷｈ/百万円）	42.41	41.39
ＣＯ２ 排出量※1	総量	(kg－CO_2)	98,564	95,016
	原単位	(kg－CO2/百万円)	55.19	52.79
用水使用量※2	総量	(㎥)	265	336
	原単位	(㎥/百万円)	0.19	0.19
一般廃棄物排出量※5	総量	(kg)	6,440	2,460
	原単位	(kg/百万円)	3.61	1.37
産業廃棄物排出量	総量	(kg)	18,380	17,800
	原単位	(kg/百万円)	10.29	9.89
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	61.1	66
グリーン購入※3	総量	(%)	33	38
環境配慮商品の販売※4	総量	(%)（件/件）	100(818//818)	100
環境美化活動	総量	(回)	5	7

＊１．電力のＣＯ２ 発生量については、電気事業者別のＣＯ２ 排出係数（平成３０年度実績）
（令和２年１月７日公表）の四国電力の調整後排出係数０．５２８（kg－ＣＯ２ ／ｋＷｈ）を使用した。

＊２．グリーン購入量は、事務用品のみで製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）

＊３．用水使用量は、使用環境の変化があった為2020年以降は2019年の実績を基準とする。

＊４．環境配慮商品の販売はグリーン購入法適合エアコンの販売数量を元にした。

＊５．軽油使用量及び一般廃棄物排出量は2020年度に実績把握したものを基準とした。

（２）中長期目標　〈化学物質の使用が無い為、目標値の設定はありません〉

項目	総量･原単位	単位	2018年度 実績（基準年）	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
売上高		百万円	1,786	1,800	1,800	1,800
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	（ℓ）	25,245	23,750	23,500	23,250
	原単位	（ℓ/百万円）	14.13	13.19	13.06	12.92
軽油使用量※5	総量	（ℓ）	－	1,305	1,300	1,295
	原単位	（ℓ/百万円）	－	0.73	0.72	0.72
電力使用量	総量	(kWh)	75,750	74,250	74,000	73,750
	原単位	（ｋＷｈ/百万円）	42.41	41.25	41.11	40.97
ＣＯ２ 排出量※1	総量	(kg－CO_2)	98,564	94,304	93,592	92,880
	原単位	(kg－CO2/百万円)	55.19	52.39	52.00	51.60
用水使用量※2	総量	(㎥)	265	335	334	333
	原単位	(㎥/百万円)	0.19	0.19	0.19	0.19
一般廃棄物排出量※5	総量	(kg)	6,440	2,440	2,420	2,400
	原単位	(kg/百万円)	3.61	1.36	1.34	1.33
産業廃棄物排出量	総量	(kg)	18,380	17,700	17,600	17,500
	原単位	(kg/百万円)	10.29	9.83	9.78	9.72
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	61.1	67	68	69
グリーン購入※3	総量	(%)	33	39	40	41
環境配慮商品の販売※4	総量	(%)（件/件）	100(818//818)	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	5	8	8	8

＊１．電力のＣＯ２ 発生量については、電気事業者別のＣＯ２ 排出係数（平成３０年度実績）
（令和２年１月７日公表）の四国電力の調整後排出係数０．５２８（kg－ＣＯ２ ／ｋＷｈ）を使用した。

＊２．グリーン購入量は、事務用品のみで製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）

＊３．用水使用量は、使用環境の変化があった為2020年以降は2019年の実績を基準とする。

＊４．環境配慮商品の販売はグリーン購入法適合エアコンの販売数量を元にした。

＊５．軽油使用量及び一般廃棄物排出量は2020年度に実績把握したものを基準とした。

７．環境経営計画

期間： 2023年10月 ～ 2024年9月

項目		活動内容	担当者	期間
ＣＯ2 排出量	燃料使用量	○エコドライブを実行する	久保	通年
		○近距離の場合は自転車や徒歩で移動する	下元	通年
		○車両点検を行う	大野	通年
		○公共交通機関を利用する(出張時等に可能な場合)	久保	通年
		○ハイブリッドカー等、低燃費車を購入	川﨑・大野	通年
		○工事現場等へは相乗りで行く	吉田	通年
		○リモート会議の活用	大野	通年
	電力使用量	○パソコンの電源ＯＦＦ(未使用時)	大野	通年
		○未使用の部屋は消灯	久保	通年
		○クールビズ、ウォームビズの実施	久保	通年
		○室温(夏季２８℃、冬季２０℃の管理)	久保	通年
		○エアコンのフィルターの掃除	江崎	6.12月
		○11月及び4月から6月はエアコンの使用を控える	久保	4・5・6・11月
用水使用量削減（排水量削減）		○節水ラベルの表示	久保	通年
		○漏水の確認	久保	通年
廃棄物削減	一般廃棄物	○ダンボール、カタログなどのリサイクル	大野	通年
		○プレビューを活用しミスプリントを抑える	久保	通年
		○裏紙の活用	下元	通年
		○両面コピーの実施	久保	通年
		○文書の電子化	大野	通年
	産業廃棄物	○分別して保管する	大野	通年
グリーン購入		○グリーン購入対象商品の選定	大野	通年
		○詰替え商品の購入	大野	通年
環境に配慮した商品の販売		○グリーン購入法適合エアコンの販売促進	弘田	通年
環境美化活動		○地域の清掃活動への参加	吉田	通年
		○会社周辺の清掃	下元	通年

8.環境経営目標の実績

（１）本年度実績　〈化学物質の使用が無い為、目標値の設定はありません〉

項目	総量・原単位	単位	基準年 2018年度 2018.10-2019.9	2023年度 目標 2023.10-2024.9	2023年度 実績 2023.10-2024.9	実績値／目標値 （%）	評価
売上高		百万円	1,786	1,800	1,768	98.2	○
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	（ℓ）	25,245	24,250	31,497	129.9	×
	原単位	（ℓ/百万円）	14.13	13.47	17.81	132.2	×
軽油使用量※5	総量	（ℓ）	–	1,315	2,229	169.5	×
	原単位	（ℓ/百万円）	–	0.73	1.26	172.6	×
電力使用量	総量	（kWh）	75,750	74,750	67,661	90.5	○
	原単位	（ｋＷｈ/百万円）	42.41	41.53	38.27	92.2	○
ＣＯ$_2$ 排出量※1	総量	（kg－CO$_2$）	98,564	95,728	114,549	119.7	×
	原単位	（kg－CO2/百万円）	55.19	53.18	64.79	121.8	×
用水使用量※2	総量	（㎥）	265	337	439	130.3	×
	原単位	（㎥/百万円）	0.15	0.19	0.25	132.6	×
一般廃棄物排出量※5	総量	（kg）	6,440	2,480	1,681	67.8	○
	原単位	（kg/百万円）	3.61	1.38	0.95	69.0	○
産業廃棄物排出量	総量	（kg）	18,380	17,900	10,137	56.6	○
	原単位	（kg/百万円）	10.29	9.94	5.73	57.7	○
産業廃棄物再資源化率	総量	（%）	61.1	65	86	132.0	○
グリーン購入※3	総量	（%）	33	37	47	127.0	○
環境配慮商品の販売※4	総量	（%）（件/件）	100(818/818)	100	100	100.0	○
環境美化活動	総量	（回）	5	6	6	100.0	○

＊１．電力のＣＯ$_2$ 発生量については、電気事業者別のＣＯ$_2$ 排出係数（平成３０年度実績）
（令和２年１月７日公表）の四国電力の調整後排出係数０．５２８（kg－ＣＯ$_2$ ／ｋＷｈ）を使用した。

＊２．グリーン購入量は、事務用品のみで製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）

＊３．用水使用量は、使用環境の変化があった為2020年以降は2019年の実績を基準とする。

＊４．環境配慮商品の販売はグリーン購入法適合エアコンの販売数量を元にした。

＊５．軽油使用量及び一般廃棄物排出量は2020年度に実績把握したものを基準とした。

＜環境経営目標　結果考察＞

ガソリン使用量：　基準年と比べ社員数の増加により車両の使用頻度が増加した為

軽油使用量　　：　ガソリン車から燃費の良い軽油車輌に乗り換えたことで使用量が増加した為

電力使用量　　：　昨年に引き続きの目標達成は取り組みによる結果と評価できる

Co2排出量　　：　社員数が増え燃料の使用量が増加した点が主な原因

用水使用量　　：　現場での用水使用は殆どなく用水は事務所での使用が大半を占めている
今年初めて前年の使用量を下回った。

＜過去の実績＞

〈化学物質の使用が無い為、目標値の設定はありません〉

項目	総量・原単位	単位	２０１９年度実績	２０２０年度実績	２０２１年度実績	２０２２年度実績	２０２3年度実績
売上高		百万円	1,740	1,932	1,735	2,012	1,768
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	（ℓ）	23,221	29,936	25,573	25,331	31,497
	原単位	（ℓ/百万円）	13.35	15.49	14.74	12.59	17.81
軽油使用量※5	総量	（ℓ）	745	1,325	1,597	1,723	2,229
	原単位	（ℓ/百万円）	0.43	0.69	0.92	0.86	1.26
電力使用量	総量	（ｋＷｈ）	69,946	74,300	77,116	68,627	67,661
	原単位	（ｋＷｈ/百万円）	40.20	38.46	44.45	34.11	38.27
CO_2 排出量※1	総量	（kg－CO_2）	90,804	108,682	104,167	99,455	114,549
	原単位	（kg－CO2/百万円）	52.19	56.25	60.04	49.43	64.79
用水使用量※2	総量	（m^3）	340	403	443	451	439
	原単位	（m3/百万円）	0.20	0.21	0.26	0.22	0.25
一般廃棄物排出量※5	総量	（ｋｇ）	－	2,538	2,044	1,840	1,681
	原単位	（ｋｇ/百万円）	－	1.31	1.18	0.91	0.95
産業廃棄物排出量	総量	（ｋｇ）	11,560	16,181	13,255	9,804	10,137
	原単位	（ｋｇ/百万円）	6.64	8.38	7.64	4.87	5.73
産業廃棄物再資源化率	総量	（%）	84	75	91	45	86
グリーン購入※3	総量	（%）	34	26	49	33	47
環境配慮商品の販売※4	総量	（%）（件/件）	100(867/867)	100(742/742)	100(676/676)	100(842/842)	100
環境美化活動	総量	（回）	4	6	7	6	6

＊１．電力のCO_2発生量については、電気事業者別のCO_2排出係数（平成３０年度実績）

（令和２年１月７日公表）の四国電力の調整後排出係数０．５２８（kg－CO_2／ｋＷｈ）を使用した。

＊２．グリーン購入量は、事務用品のみで製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）

＊３．用水使用量は、使用環境の変化があった為2020年以降は2019年の実績を基準とする。

＊４．環境配慮商品の販売はグリーン購入法適合エアコンの販売数量を元にした。

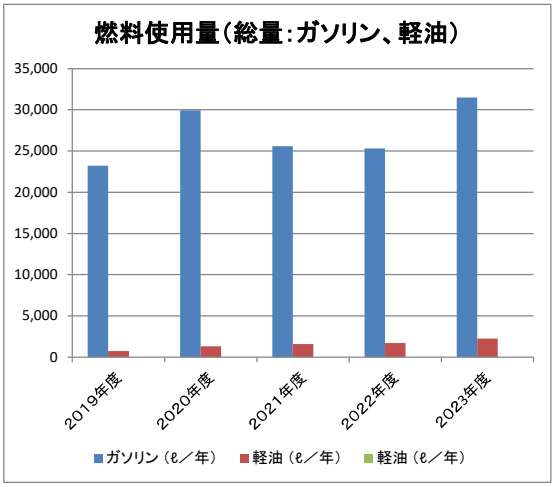
＊５．軽油使用量及び一般廃棄物排出量は2020年度に実績把握したものを基準とした。

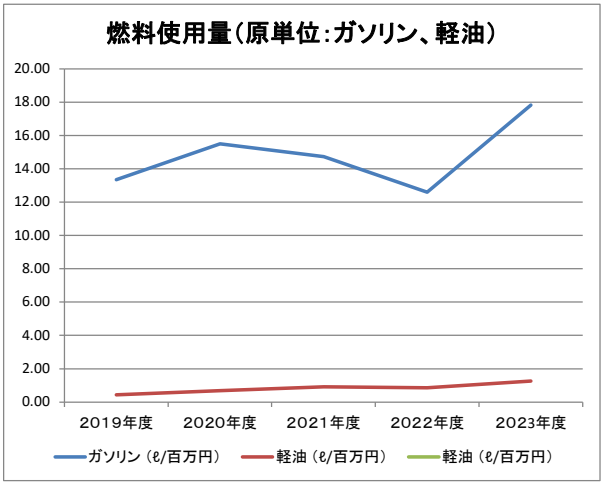
燃料使用量（総量：ガソリン、軽油）
単位：ℓ／年

年度	ガソリン（ℓ／年）	軽油（ℓ／年）
２０１９年度	23,221	745
２０２０年度	29,936	1,325
２０２１年度	25,573	1,597
２０２２年度	25,331	1,723
２０２３年度	31,497	2,229

燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油）
単位：ℓ／百万円

年度	ガソリン（ℓ/百万円）	軽油（ℓ/百万円）
２０１９年度	13.35	0.43
２０２０年度	15.49	0.69
２０２１年度	14.74	0.92
２０２２年度	12.59	0.86
２０２３年度	17.81	1.26



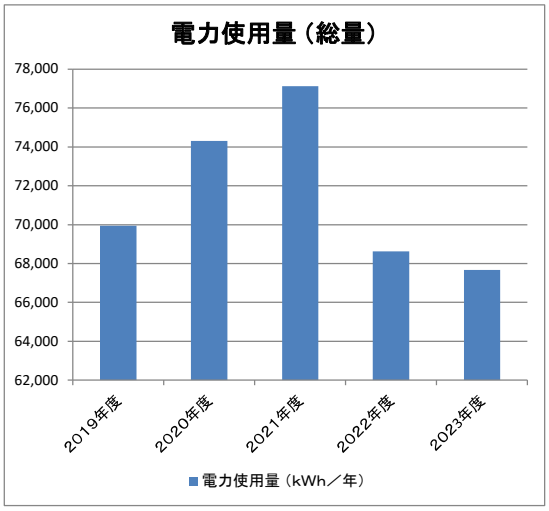


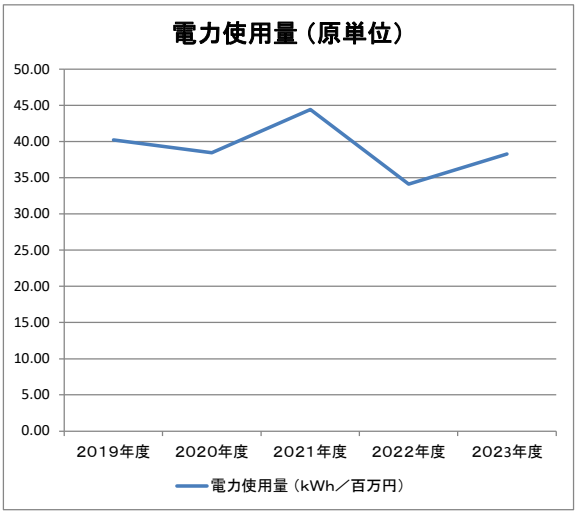
電力使用量（総量：ｋＷｈ／年）

年度	電力使用量（ｋＷｈ／年）
２０１９年度	69,946
２０２０年度	74,300
２０２１年度	77,116
２０２２年度	68,627
２０２３年度	67,661

電力使用量（原単位：ｋＷｈ／百万円）

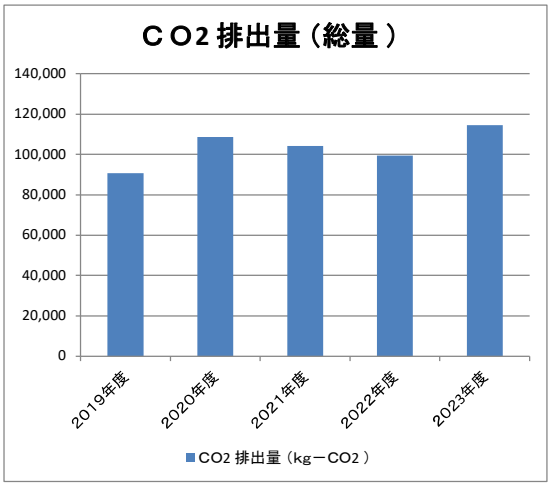
年度	電力使用量（ｋＷｈ／百万円）
２０１９年度	40.20
２０２０年度	38.46
２０２１年度	44.45
２０２２年度	34.11
２０２３年度	38.27





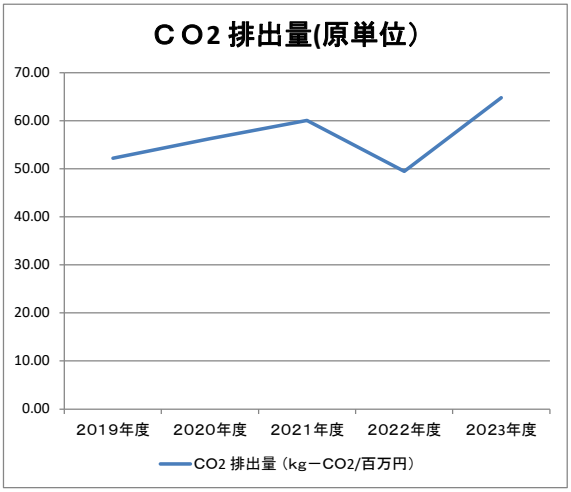
CO_2 排出量（総量：（ｋｇ－CO2）

年度	CO2 排出量（ｋｇ－CO2）
２０１９年度	90,804
２０２０年度	108,682
２０２１年度	104,167
２０２２年度	99,455
２０２３年度	114,549



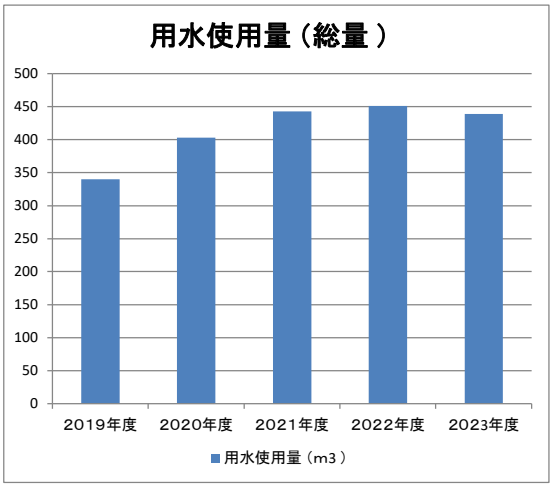
CO_2 排出量（原単位：ｋｇ－CO2/百万円）

年度	CO2 排出量（ｋｇ－CO2/百万円）
２０１９年度	52.19
２０２０年度	56.25
２０２１年度	60.04
２０２２年度	49.43
２０２３年度	64.79



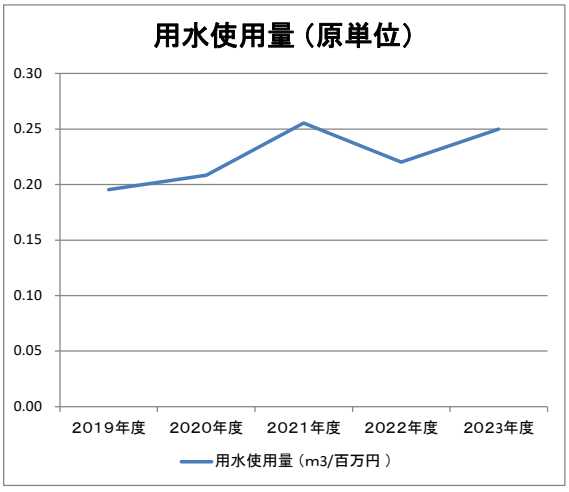
用水使用量(総量：m3）

年度	用水使用量（m3）
２０１９年度	340
２０２０年度	403
２０２１年度	443
２０２２年度	451
２０２３年度	439



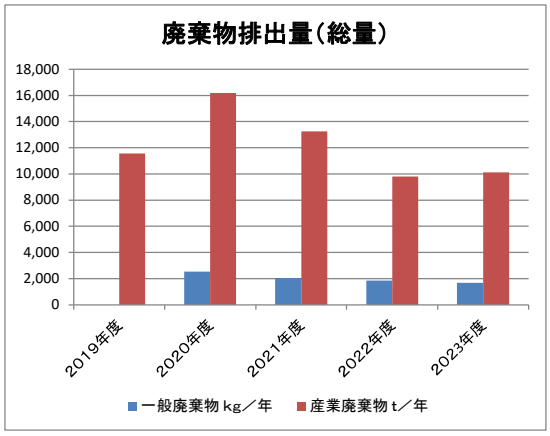
用水使用量(原単位：m3/百万円）

年度	用水使用量（m3/百万円）
２０１９年度	0.20
２０２０年度	0.21
２０２１年度	0.26
２０２２年度	0.22
２０２３年度	0.25



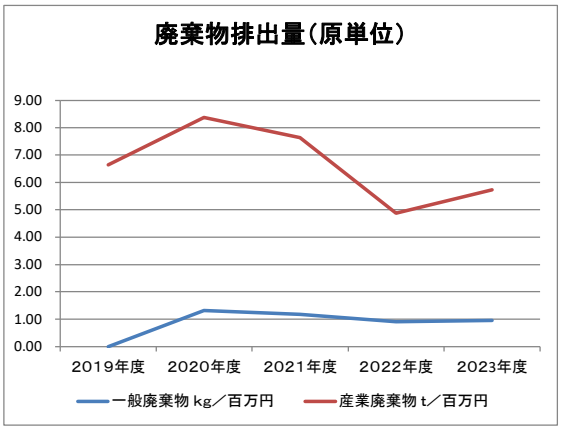
廃棄物排出量（総量：一般廃棄物、産業廃棄物）
単位：一般廃棄物　ｋｇ／年
単位：産業廃棄物　ｔ／年

年度	一般廃棄物 ｋｇ／年	産業廃棄物 ｔ／年
２０１９年度	–	11,560
２０２０年度	2,538	16,181
２０２１年度	2,044	13,255
２０２２年度	1,840	9,804
２０２3年度	1681	10137



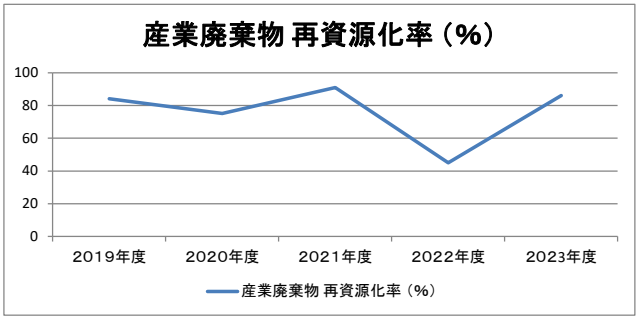
廃棄物排出量（原単位：一般廃棄物、産業廃棄物）
単位：一般廃棄物　ｋｇ／百万円
単位：産業廃棄物　ｔ／百万円

年度	一般廃棄物 ｋｇ／百万円	産業廃棄物 ｔ／百万円
２０１９年度	–	6.64
２０２０年度	1.31	8.38
２０２１年度	1.18	7.64
２０２２年度	0.91	4.87
２０２3年度	0.95	5.73



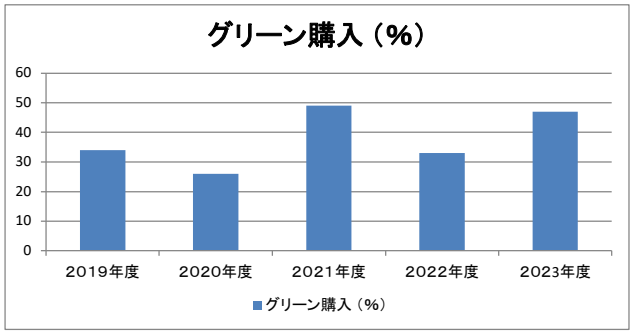
産業廃棄物再資源化率（%）

年度	産業廃棄物 再資源化率 (%)
２０１９年度	84
２０２０年度	75
２０２１年度	91
２０２２年度	45
２０２3年度	86



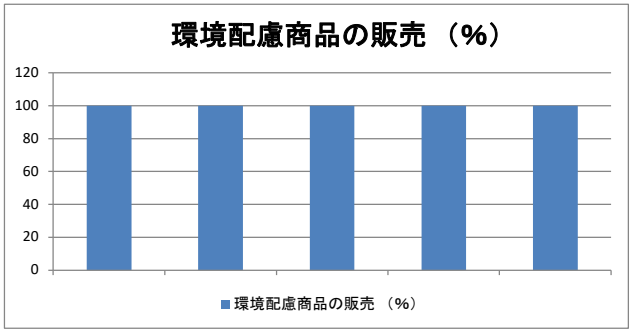
グリーン購入（%）

年度	グリーン購入 (%)
２０１９年度	34
２０２０年度	26
２０２１年度	49
２０２２年度	33
２０２3年度	47



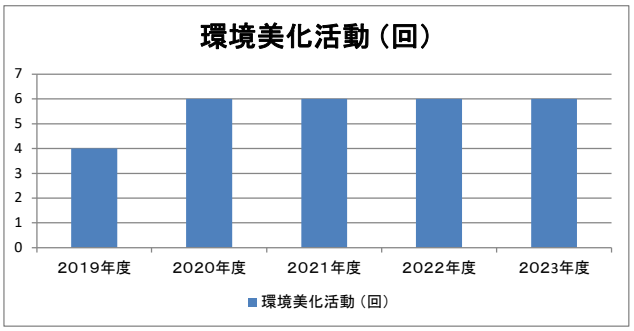
環境配慮商品の販売　（%）

年度	販売割合（%）	
２０１９年度	100	(818件/818件)
２０２０年度	100	(867件/867件)
２０２１年度	100	(742件/742件)
２０２２年度	100	(676件/676件)
２０２3年度	100	(842件/842件)



環境美化活動（回）

年度	環境美化活動（回）
２０１９年度	4
２０２０年度	6
２０２１年度	6
２０２２年度	6
２０２3年度	6



9.環境経営計画 の取組結果とその評価

期間：　2023年10月　～　2024年9月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し
ＣＯ2 排出量	燃料使用量	○エコドライブを実行する	達成	○	無し
		○近距離の場合は自転車や徒歩で移動する	達成	○	無し
		○車両点検を行う	達成	○	無し
		○公共交通機関を利用する(出張時等に可能な場合)	達成	○	無し
		○ハイブリッドカー等、低燃費車を購入	達成	○	無し
		○工事現場等へは相乗りで行く	達成	○	無し
		○リモート会議の活用	達成	○	無し
	電力使用量	○パソコンの電源ＯＦＦ(未使用時)	達成	○	無し
		○未使用の部屋は消灯	達成	○	無し
		○クールビズ、ウォームビズの実施	達成	○	無し
		○室温(夏季２８℃、冬季２０℃の管理)	達成	○	無し
		○エアコンのフィルターの掃除	達成	○	無し
		○11月及び4月から6月はエアコンの使用を控える	達成	○	無し
用水使用量削減（排水量削減）		○節水ラベルの表示	達成	○	無し
		○漏水の確認	達成	○	無し
廃棄物削減	一般廃棄物	○ダンボール、カタログなどのリサイクル	達成	○	無し
		○プレビューを活用しミスプリントを抑える	達成	○	無し
		○裏紙の活用	達成	○	無し
		○両面コピーの実施	達成	○	無し
		○文書の電子化	達成	○	無し
	産業廃棄物	○分別して保管する	達成	○	無し
グリーン購入		○グリーン購入対象商品の選定	達成	○	無し
		○詰替え商品の購入	達成	○	無し
環境に配慮した商品の販売		○グリーン購入法適合エアコンの販売促進	達成	○	無し
環境美化活動		○地域の清掃活動への参加	達成	○	無し
		○会社周辺の清掃	達成	○	無し

１０．次年度の取組内容

環境経営目標

（１）単年度目標　　(2024年度)　〈化学物質の使用が無い為、目標値の設定はありません〉

項目	総量･原単位	単位	基準年 2018年度 2018.10-2019.9	2024年度 目標 2024.10-2025.9
売上高		百万円	1,786	1,800
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	25,245	23,750
	原単位	(ℓ/百万円)	14.13	13.19
軽油使用量※5	総量	(ℓ)	－	1,305
	原単位	(ℓ/百万円)	－	0.73
電力使用量	総量	(kWh)	75,750	74,250
	原単位	(ｋＷｈ/百万円)	42.41	41.25
ＣＯ$_2$ 排出量※1	総量	(kg－CO_2)	98,564	94,304
	原単位	(kg－CO2/百万円)	55.19	52.39
用水使用量※2	総量	(㎥)	265	335
	原単位	(㎥/百万円)	0.15	0.19
一般廃棄物排出量※5	総量	(kg)	6,440	2,440
	原単位	(kg/百万円)	3.61	1.36
産業廃棄物排出量	総量	(kg)	18,380	17,700
	原単位	(kg/百万円)	10.29	9.83
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	61	67
グリーン購入※3	総量	(%)	33	39
環境配慮商品の販売※4	総量	(%)（件/件）	100(818/818)	100
環境美化活動	総量	(回)	5	7

＊１．電力のＣＯ$_2$ 発生量については、電気事業者別のＣＯ$_2$ 排出係数（平成３０年度実績）
（令和２年１月７日公表）の四国電力の調整後排出係数０．５２８（kg－ＣＯ$_2$ ／ｋＷｈ）を使用した。
＊２．グリーン購入量は、事務用品のみで製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）
＊３．用水使用量は、使用環境の変化があった為2020年以降は2019年の実績を基準とする
＊４．環境配慮商品の販売はグリーン購入法適合エアコンの販売数量を元にした
＊５．軽油使用量及び一般廃棄物排出量は2020年度に実績把握したものを基準とした

（２）中長期目標　〈化学物質の使用が無い為、目標値の設定はありません〉

項目	総量･原単位	単位	2018年度 実績（基準年）	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標
売上高		百万円	1,786	1,800	1,800	1,800
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	25,245	23,250	23,000	22,750
	原単位	(ℓ/百万円)	14.13	12.92	12.78	12.64
軽油使用量※5	総量	(ℓ)	－	1,295	1,290	1,285
	原単位	(ℓ/百万円)	－	0.72	0.72	0.71
電力使用量	総量	(kWh)	75,750	73,750	73,500	73,250
	原単位	(ｋＷｈ/百万円)	42.41	40.97	40.83	40.69
ＣＯ$_2$ 排出量※1	総量	(kg－CO_2)	98,564	92,880	92,168	91,456
	原単位	(kg－CO2/百万円)	55.19	51.60	51.20	50.81
用水使用量※2	総量	(㎥)	265	333	332	331
	原単位	(㎥/百万円)	0.15	0.19	0.18	0.18
一般廃棄物排出量※5	総量	(kg)	6,440	2,400	2,380	2,360
	原単位	(kg/百万円)	3.61	1.33	1.32	1.31
産業廃棄物排出量	総量	(kg)	18,380	17,500	17,400	17,300
	原単位	(kg/百万円)	10.29	9.72	9.67	9.61
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	61	69	70	71
グリーン購入※3	総量	(%)	33	41	42	43
環境配慮商品の販売※4	総量	(%)（件/件）	100(818/818)	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	5	7	7	7

＊１．電力のＣＯ$_2$ 発生量については、電気事業者別のＣＯ$_2$ 排出係数（平成３０年度実績）
（令和２年１月７日公表）の四国電力の調整後排出係数０．５２８（kg－ＣＯ$_2$ ／ｋＷｈ）を使用した。
＊２．グリーン購入量は、事務用品のみで製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）
＊３．用水使用量は、使用環境の変化があった為2020年以降は2019年の実績を基準とする。
＊４．環境配慮商品の販売はグリーン購入法適合エアコンの販売数量を元にした。
＊５．軽油使用量及び一般廃棄物排出量は2020年度に実績把握したものを基準とした。

環境経営計画

期間：2024年10月～2025年9月

項目		活動内容	担当者	期間
ＣＯ2 排出量	燃料使用量	○エコドライブを実行する	久保	通年
		○近距離の場合は自転車や徒歩で移動する	下元	通年
		○車両点検を行う	大野	通年
		○公共交通機関を利用する(出張時等に可能な場合)	久保	通年
		○ハイブリッドカー等、低燃費車を購入	川﨑・大野	通年
		○工事現場等へは相乗りで行く	吉田	通年
		○リモート会議の活用	大野	通年
	電力使用量	○パソコンの電源ＯＦＦ(未使用時)	大野	通年
		○未使用の部屋は消灯	久保	通年
		○照明の照度を60%に落とす	山下	通年
		○クールビズ、ウォームビズの実施	久保	通年
		○室温(夏季２８℃、冬季２０℃の管理)	久保	通年
		○エアコンのフィルターの掃除	江崎	6.12月
		○11月及び4月から6月はエアコンの使用を控える	久保	4・5・6・11月
用水使用量削減（排水量削減）		○節水ラベルの表示	久保	通年
		○漏水の確認	久保	通年
廃棄物削減	一般廃棄物	○ダンボール、カタログなどのリサイクル	大野	通年
		○プレビューを活用しミスプリントを抑える	久保	通年
		○裏紙の活用	下元	通年
		○両面コピーの実施	久保	通年
		○グループウェアでの申請書類管理	大野	通年
		○文書の電子化	大野	通年
	産業廃棄物	○分別して保管する	大野	通年
グリーン購入		○グリーン購入対象商品の選定	大野	通年
		○詰替え商品の購入	大野	通年
環境に配慮した商品の販売		○グリーン購入法適合エアコンの販売促進	弘田	通年
環境美化活動		○地域の清掃活動への参加	吉田	通年
		○会社周辺の清掃	下元	通年

１１．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

（1）環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果（法規）

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄の処理及び清掃に関する法律	第３条	○事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	久保 大野	○	2024年11月10日
	第１２条	○産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	久保 大野	○	2024年11月10日
	第１２条の１０、１１項	○多量排出事業者（年間１，０００ｔ以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	久保 大野	○	2024年11月10日
	第１２条の三	○産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	大野	○	2024年11月10日
	第１２条の三７項	○マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年１回 毎年６月末	久保 大野	○	2024年11月10日
	規則第８条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦６０ｃｍ以上×横６０ｃｍ以上）	必要時	久保 大野	○	2024年11月10日
資源の有効な利用の促進に関する法律 （リサイクル法）	第４条	○土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	久保 大野	○	2024年11月10日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第５条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	吉田	○	2024年11月10日
	第９条 第１０条	○分別解体等の実施 解体：床面積８０m2 以上 新築・増築：床面積５００m2 以上 ○対象建設工事は７日前までに都道府県知事に届出	必要時	吉田	○	2024年11月10日
騒音規制法	第５条 第１４条	○騒音規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始７日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	吉田	○	2024年11月10日
振動規制法	第５条 第１４条	○振動規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始７日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	吉田	○	2024年11月10日
消防法	第８条	○防火管理者の選任、消防計画の作成 （遅滞なく所轄消防長又は消防署長に届出）	必要時	吉田	○	2024年11月10日
	第１０条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長への許可 第１石油類　ｶﾞｿﾘﾝ：200ℓ 第２石油類　灯油、軽油：1,000ℓ 第３石油類　重油：2,000ℓ 第４石油類　潤滑油：6,000ℓ ｷﾞﾔ油、ｴﾝｼﾞﾝｵｲﾙ、ﾏｼﾝ油	必要時	吉田	○	2024年11月10日
消防法	第３１条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 （指定数量の１／５以上指定数量未満の危険物貯蔵）	必要時	吉田	○	2024年11月10日
	第１７条の３の２	○消防用設備等設置届書の消防署への提出	着工１０日前	吉田	○	2024年11月10日

フロン類の使用の合理化及び 管理の適正化に関する法律 （フロン排出抑制法）	 第１９条 第５条 第３０条	○事業者によるフロン類の漏洩量等の報告 1,000 CO2-t/年以上、事業所所管大臣への報告 ○定期点検の実施 エアコン：7.5kW以上50kW未満 簡易点検 ○第一種フロン類充填回収業者登録更新	年１回 １回／３年 １回/３ヶ月 １回/５年	江崎	○	2024年11月10日
下水道法	第１０条	○下水道に下水を流入させる為の排水管、 排水渠等の設置	必要時	久保 大野	○	2024年11月10日
大気汚染防止法	新法第18条の15第 1項,第4項及び第6 、新規則第16条の5	○解体・改造・補修する作業を伴う建設工事の 元請業者は、特定工事に該当するか否かを調査し、 発注者に結果等を報告 ○調査に関数する記録の作成・保存 ○解体等工事の元請業者・自主施工業者は事前調査を 行ったときは遅滞なく都道府県知事に報告	必要時	尾﨑 栗田	○	2024年11月10日

(2)環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果(条例)

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第６条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	久保 大野	○	2024年11月10日
高知県清流保全条例	第２条	○事業者の清流保全の努力	必要時	久保 大野	○	2024年11月10日
高知市環境基本条例	第５条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	久保 大野	○	2024年11月10日
南国市環境基本条例	第５条 第２８条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理 ○事業者の地球環境保全への取組	必要時	久保 大野	○	2024年11月10日
香南市環境基本条例	第５条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	久保 大野	○	2024年11月10日
四万十町環境基本条例	第５条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	久保 大野	○	2024年11月10日
四万十市環境基本条例	第５条	○事業者の責務 環境負荷の低減、その他環境保全	必要時	久保 大野	○	2024年11月10日

（３）環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年10月1日より2024年9月30日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

１２．代表者による全体評価と見直しの結果

2024年11月15日　代表者 川﨑 敦子

■定期見直し（事業年度終了後）

見直しに必要な情報

環境管理責任者の報告及び改善提案

【取組状況の評価結果】

①環境関連法規制等の遵守状況

法令違反なし

②問題点の是正処置及び予防処置の状況

環境に問題点等はなし

【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】

目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況
燃料使用量の削減	×	達成
電力使用量の削減	○	達成
産業廃棄物排出量の削減	○	達成
一般廃棄物排出量の削減	○	達成
用水使用量の削減	×	達成
CO_2排出量の削減	×	達成
グリーン購入率の増加	○	達成
環境配慮商品の販売割合増加	○	達成
環境美化活動の増加	○	達成

【周囲の変化の状況】

①外部コミュニケーション記録より

環境に関係する苦情・要望等なし

②環境関連法規制等の動向他

大気汚染防止法に関する法規を環境関連法規に追加

代表者による見直し

変更の必要性の有無・指示事項

【環境経営方針】

変更の必要性：　□有　☑無

継続とする

【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】

変更の必要性：　☑有　□無

環境経営計画にグループウェアでの申請書類管理を追加した。令和6年10月から社内の申請書類の提出及び管理をグループウェアで行うこととし紙の使用をやめた。今後もこちらを活用し書類の電子化を進めていく。

環境経営目標・環境管理組織体制は変更ありません。

【その他】

変更の必要性：　□有　☑無

エコアクション21はシステムとして有効に機能している。

【代表者による指示】

・電力使用量について、

昨年に続き取組が結果に表れている。今後も継続して削減に取り組むこと

・電気自動車の導入について

導入に至っていない電気自動車について導入検討を継続すること

・社員の環境問題に対する意識の向上について

新入社員への勉強会や情報発信等の機会を増やすこと

【総括】

今年度の結果については、先ず昨年に続き電力使用量の削減目標を達成する事が出来た点は非常に大きく、会社全体での取り組みの成果と言える。

このような結果から当社の環境経営システムはは有効に機能していると評価できる。一方でガソリン及び軽油の使用量については削減目標を達成することができていない年が続いており、この点においては燃料効率の良い車輌への入替や運用方法の見直しなど長期で取り組んでいく必要がある。

今後もエコアクション21への取り組みを継続し会社全体で環境問題に取組んでいくこととする。

１３．その他の取組

１．自然保護団体への支援

支援団体	支援内容	支援年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2015-24年

2015年から毎年「交通エコポイント活用社会還元事業」に参加しています。交通エコポイントとは、ICカード「ですか」で公共交通を利用した場合、車と比べるとどれだけ二酸化炭素を抑制したことになるのかを数値化したものです。

①

②

③

①2020年9月8日に交通エコポイント活用社会還元事業への5年間寄付に対して賞状を頂きました。
②2020年9月8日に交通エコポイント活用社会還元事業にて延10tのCO2削減量に
　相当する寄付に対して感謝状を頂きました。
③2021年5月12日にエコアクション21認証登録10年対して賞状を頂きました。

《その他の地域社会貢献活動》

活動内容	実施時期
秋のおもてなし一斉清掃	10月
「2022年南国土佐観光びらき」清掃	1月
県民一斉美化清掃	2月
春季鏡川一斉清掃	3月
公共建築物電気設備の安全点検と照明器具の清掃活動	7月
龍馬生誕の地の周辺花壇への植栽	11月

１３．「Present Tree」への参加

認定NPO法人環境リレーションズ研究所の主催する「Present Tree」の活動に参加しました。
「Present Tree」は森林再生と地域振興を目指し、樹を植え育てる活動を通じて人と自然、
地域の繋がりを築くプロジェクトです。

afforestation certificate

植樹証明書 PT in 北海道

樹の管理番号 HN-24-0001

発行日付 2024/7/1
申込番号 17741

不二電気工芸㈱ 様

樹　種： アカエゾマツ

植樹場所： 北海道中川郡音威子府村字音威子府

表記のとおり植樹しました。

2/2 627AKKX0001269

認定NPO法人
環境リレーションズ研究所
〒101-0052
東京都千代田区神田小川町2-3-12 神田小川町ビル8階
TEL：03-5283-8143 FAX：03-3296-8656

Present Tree.®

１３．グリーンボンド債への投資

・高知県が発行するグリーンボンド債への投資を行いました。グリーンボンド債は県債の購入を通じ、地元企業と投資家の県政参画を推進するとともに、脱炭素化に取り組む機運の醸成につなげることを目的としたものです。

令和 5 年 10 月 31 日

高知県が発行するグリーンボンドへの投資について

不二電気工芸株式会社（代表者名：代表取締役　川﨑　敦子、以下「当社」という）は、このたび、高知県が発行する高知県令和 5 年度第 1 回公募公債（グリーンボンド・5 年)、以下「本債券」という）に投資したことをお知らせします。

グリーンボンドは、環境改善効果を有するプロジェクトに充当先を限定した資金調達のために発行される債券です。

本債券におけるフレームワークは、国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）が定義する「グリーンボンド原則 2021」、及び「環境省グリーンボンドガイドライン 2022 年版」への適合性について、第三者機関からセカンド・パーティー・オピニオン（Second Party Opinion：SPO）を取得しています（SPO 発行者：株式会社日本格付研究所（JCR））。

本債券の発行による調達資金は、高知県が取り組む環境改善効果のある下表のグリーン化事業に充当される予定です。

プロジェクト分類	事業内容
エネルギー効率	・ 県有施設の設備更新（空調）等による環境負荷低減
気候変動への適応	・ 水害対策 ・ 土砂災害対策 ・ 高潮・高波対策
生物多様性保全に関する事業	・ 動植物の情報収集と標本の適正管理

引き続き、当社は、地域・社会や環境との共生、経済・企業との安定的な成長共有の観点から、本債券をはじめとしたESG領域における投融資を一層推進してまいります。

＜本債券の概要＞

名称	高知県令和 5 年度第 1 回公募公債（グリーンボンド・5 年)
年限	5 年
発行額	50 億円
発行日	令和 5 年 10 月

以　上

具体的な取組状況

【省エネルギー化した社屋】

2018年10月に環境に配慮した省エネルギービルに社屋を移転しました。

このビルはZEB（Net Zero Energy Building）の認証を受けています。

建物の改築にあたり、総合設備会社の建築物にふさわしい最新の省エネルギー
設備機器の導入や省エネ制御技術の導入を図ることはもとより、建物の
外皮性能を高めエネルギー消費の限りなく少ない建築物を目指すと共に、
再生可能エネルギーである太陽光発電を導入し全量自家消費をすること
によりＺＥＢ化を目指しました。

また、ＢＥＭＳ(Building and Energy Management System)の導入により
エネルギー消費実態を適切に把握・評価することで運用面での
消費エネルギーの更なる改善に繋げていきます。

《ビルに使用されている省エネルギー設備》

・高性能窓ガラス及び屋根・外壁・接地壁への高断熱素材の使用

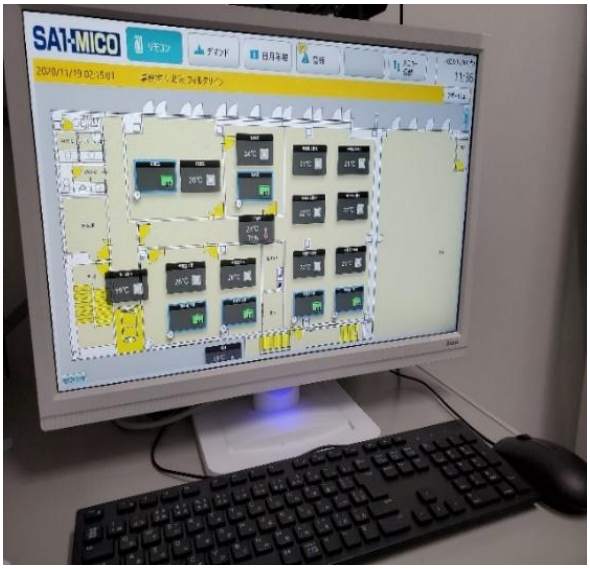
ガラスには複層ガラスの室外側に金属膜のコーティングしたものを使用。

遮熱性・断熱性に優れ室内の温度変化を抑制する効果があります。

・太陽光パネルの設置

2018年10月に10kwの太陽光発電パネルを事務所屋上に設置し、発電した電力は全量自家消費しています。

・高性能空調機器及び外気利用制御システムの利用



エネルギー管理システム（EMS）の利用により照明の光量調整や空調の設定温度、ロスナイ(熱交換形換気設備)による換気の際の熱回収やナイトパージによる積極的外気利用などを一括管理することにより、エネルギー消費を抑え効率的に室内を適正な温度に保つ仕組みを備えています。

・照明のLED化及び照明の制御

事務所内の人数が少ない時間の光量の調整や、廊下・トイレ・倉庫で人感センサーを利用することにより無駄な電力消費を抑えています。

【対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲】

ＳＤＧｓＮＯ.		当社取組有無	備　　考
1	貧困をなくそう		処遇の改善
2	飢餓をゼロに		フードバンクへ寄付、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を	○	健康診断の実施
4	質の高い教育をみんなに	○	人材育成、教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう	○	女性活躍推進、男性の育児休暇の取得推進
6	安全な水とトイレをを世界中に		計画的な節水、水道使用、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	節電や再生可能エネルギーの使用
8	働きがいも経済成長も	○	両立支援推進（仕事と育児・介護）
9	産業と技術革新の基礎をつくろう	○	事業継承対策、低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者の雇用、障害者の雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	災害対策、ＣＯ2 削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境に配慮した工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	温室効果ガスの排出抑制、省エネルギー化
14	海の豊かさを守ろう	○	温室効果ガスの排出抑制、下水道による排水処理
15	陸の豊かさも守ろう		脱プラスチック、緑化、植林
16	平和と公正をすべての人に		ハラスメントの撲滅
17	パートナーシップで目標を達成しよう		ESG投資、開発途上国に貢献する事業化